

国際課活動レポート

◆駐日デンマーク王国大使来県【2月6日～8日】



スウェーデン駐日デンマーク王国大使が来県され、紀南各地を視察されました。目的の一つは、デンマークフェロー諸島のクラクスヴィーク町と姉妹都市提携を結んだ太地町の訪問です。共通の捕鯨文化や今後の友好関係について三軒町長と意見交換をしたり、捕鯨に関わる場所を訪れたりしました。また、白浜町では、アドベンチャーワールドでパンダの飼育状況を視察しました。ここで飼育されている永明（えいめい）の孫にあたるメスのパンダ“毛二（マオアル）”が、デンマーク・コペンハーゲン動物園に派遣されることとなったためです。スウェーデン大使は、「新たなつながりも生まれ、和歌山は深い絆のある重要なパートナーだ。」と述べました。1957年、日本人を救助しようと海に飛び込み命を落と

したクヌッセン機関長の勇敢な行動がきっかけで生まれたデンマークと和歌山の友好関係は、今後もますます深くなっていくでしょう。

◆スペインガリシア州青少年代表団派遣【3月3日～12日】

熊野古道を有する和歌山県は、サンティアゴ・デ・コンポステーラ巡礼道を有するスペイン・ガリシア州と1998年に姉妹道提携を結んで以来、様々な分野での交流を行っていますが、その一つに青少年交流があります。

和歌山県の青少年15名が1週間、ガリシア州に滞在し、世界遺産であるサンティアゴ・デ・コンポステーラ巡礼路散策、大聖堂、旧市街地、ヘラクレスの塔を訪れたほか、巡礼道博物館やZARAの工場見学、州政府表敬、ホームステイなど貴重な体験をすることができました。



◆山東省友好提携35周年記念訪問団来県【3月24日・25日】

山東省と友好提携35周年を記念して、山東省龔正（きょうせい）省長を団長とする112名の一行が和歌山県を訪問しました。仁坂知事と記念会談を実施し、35周年を契機に各分野での交流をさらに推進していくことに合意しました。その後、35周年を祝って記念祝賀会が行われた他、翌日には県内事業者向けの山東省ビジネスセミナーも開催されました。

